

2. 指標設定

成果指標	指標名	立地企業数	目標年度	指標の設定理由			
	数値	4件		H27	総合計画／後期基本計画において、基本施策(4-2-3)の目標値としているため		
活動指標	指標	a	企業訪問	b	工場適地の確保	c	d
	数値	目標	20回	目標	1ヶ所	目標	目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
立地企業数	ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	0ヶ所
		100%	100%	0%

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 企業訪問	回	26回 130.0%	31回 155.0%	31回 155.0%
b 工場適地の確保	ヶ所	0ヶ所 -	0ヶ所 -	1ヶ所 -
c		-	-	-
d		-	-	-

4. 課題と対応

課題
受け入れる工場団地が未確定であり、また空き工場への進出が停滞している。
対応（改善点等）
工場適地の調査実施、情報提供のあり方、企業立地促進条例の見直しなどを検討する。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

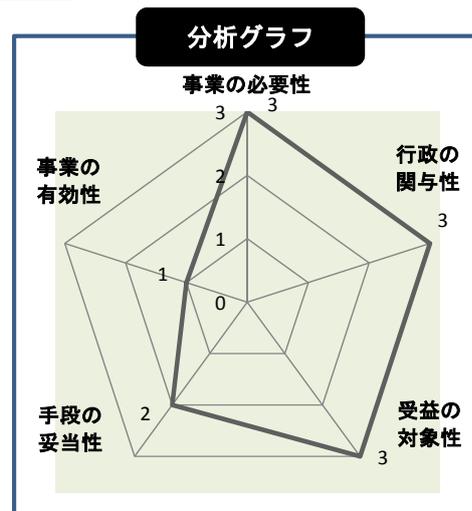
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
		174	297	147,153	212,714
うち経常経費		174	297	358	467
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他	4	4	4	190,605
	一般財源	170	293	147,149	22,109
うち経常		170	293	354	463
事業費に係る人件費		473	472	479	887
事業費に係る人役		0.11	0.11	0.11	0.20

6. H27年度予算の方向性

方向性
減額
理由
木質バイオマス発電所用地造成事業が終了するため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 実現すれば事業効果も高く、県とも連携して取り組んでいる。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 条件整備等の必要性が高く、行政の関与が必要。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 実現すれば地域の雇用、定住、財政面等にメリットがあり、広く地域に影響力がある。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 工場適地の確保等、手段の検討余地がある。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	1 空き工場の情報提供等により、近年、進出事例があったが、依然厳しい状況である。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	企業誘致の実効性に向け努力すること。